

中国東北文化研究の広場

「満洲国」文学研究会論集

第 1 号

発刊のことば	1
張赫宙の大陸開拓小説「氷解」を読む ——主人公・作家・読者のエスニシティ——	柳 水晶 3
『芸文志』と満日文化協会	石田卓生 15
皇帝、長城と橋のイメージ ——佐藤春夫・戦時歌謡・保田與重郎——	田中益三 23
「辺境」をめぐる植民地＝帝国の言語と文学の言語 ——「満洲国国境地帯法」と中国人作家、石軍の小説——	橋本雄一 41
「南玲北梅」(南の張愛玲、北の梅娘)について ——併せて「オーラル・ヒストリー」にどう対すべきか——	張 泉 51
翻訳: 古丁のエッセイ一篇、作品の序文二篇	梅 定娥 59
「牽牛房」をめぐって ——蕭紅『商市街』より——	平石淑子 65
偽満洲国时期的新詩想象 ——《詩季》杂志考述——	刘晓丽 79
『盛京時報』の文芸欄<文学>概観 附録: 掲載作品・記事総目録	大久保明男 91
『華文「大阪毎日」』『東亜文藝消息』に見る「満洲国」の作家の動向	宮入いずみ 123
回想録: 張作霖爆殺現場の余燼にたちあつて	庵谷 磐 131
「満洲国」文学研究会これまでの歩み	133

2007年9月

中国東北文化研究の広場 第1号

2007年9月17日 発行

発行者 「満洲国」文学研究会

発行所 「満洲国」文学研究会事務局
〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町1-33
千葉大学言語教育センター 橋本雄一
http://members.at.infoseek.co.jp/qiao_ben/mbk/

印刷所 チョダクレス株式会社

定価 1000円